

## 平成27年度 水道事業の概要

### 【主な業務状況】

- ・ 給水人口は 276,518人で、前年度に比べ 1,004人減少しました。
- ・ 有収水量（料金を賦課した水量）は 29,327,698 $\text{m}^3$ となりました。  
新幹線延伸、善光寺御開帳等の増加要因もありましたが、長期的な水需要の減少傾向により、前年度に比べ104,184 $\text{m}^3$ 減少しました。
- ・ 有収率（配水量のうち有収水量の割合）は 86.5%で、前年度に比べ 0.7ポイント増加しました。

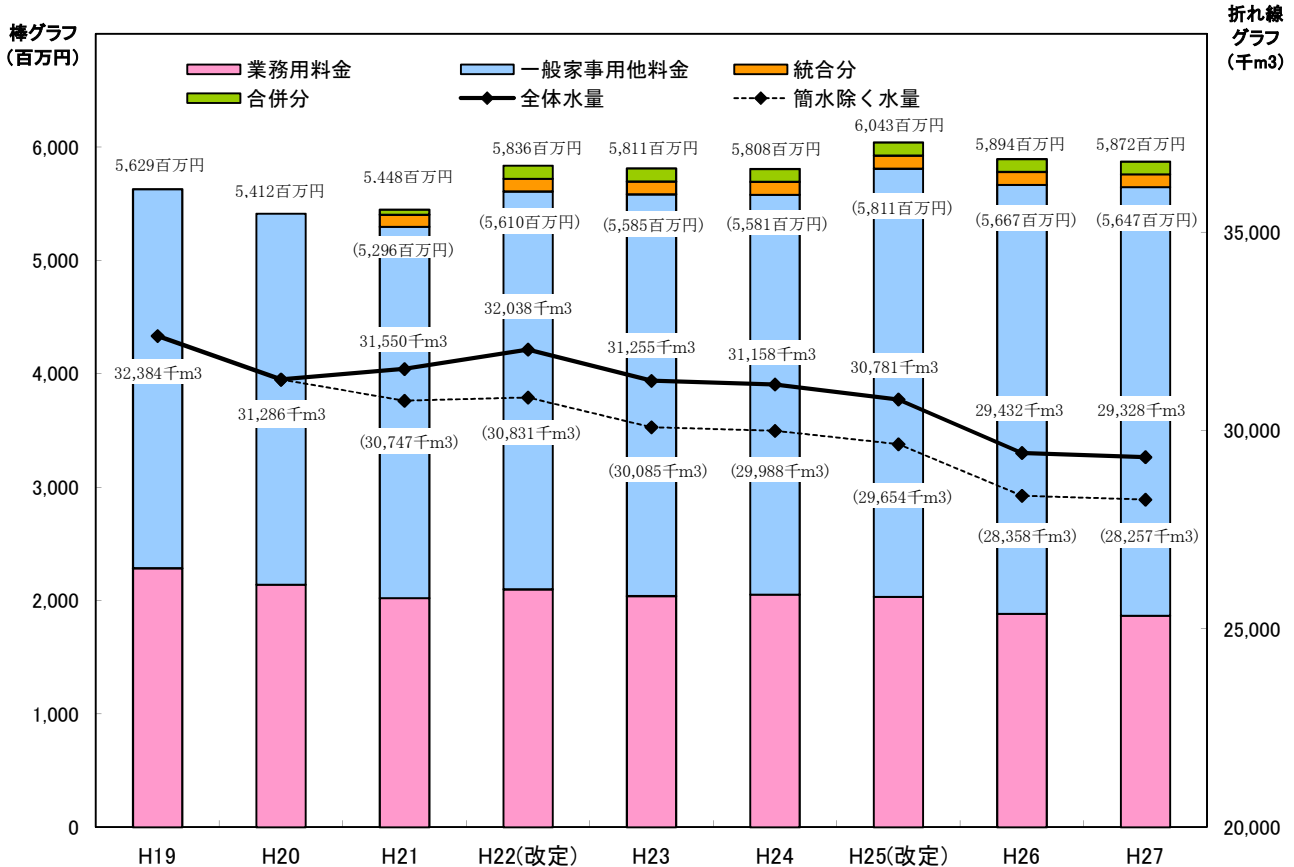
項 目	平成27年度	平成26年度	増 減	対前年比
給水人口（人）	276,518	277,522	△ 1,004	99.6%
配水量（ $\text{m}^3$ ） A	33,888,025	34,305,006	△ 416,981	98.8%
有収水量（ $\text{m}^3$ ） B	29,327,698	29,431,882	△ 104,184	99.6%
有収率（%） B/A	86.5	85.8	0.7	—

# 水道料金の推移

平成27年度の使用水量は、新幹線延伸、善光寺御開帳等の増加要因もありましたが、長期的な水需要の減少傾向により、前年度に比べ約10万4,000 m<sup>3</sup>の減少となりました。

使用水量の減少に伴い、料金収入は約58億7,200万円となり、前年度に比べ約2,200万円減少しました。

年度別 水道料金・使用水量推移



水道料金推移 (税抜き)

単位：百万円

年度	水道事業						簡易水道事業			総合計		
	一般家事用他	対前年増減	業務用	対前年増減	合計(A)	対前年増減	水量(千m <sup>3</sup> )	統合分(b1)	合併分(b2)	水量(千m <sup>3</sup> )	料金(A)+(b1)+(b2)	対前年増減
H19	3,344	△ 25	2,285	△ 12	5,629	△ 37	32,384	戸鬼大	隠里岡			
H20	3,271	△ 73	2,141	△ 144	5,412	△ 217	31,286		信州新町条			
H21	3,274	3	2,022	△ 119	5,296	△ 116	30,747	108	44	803	5,448	36
H22(改定)	3,511	237	2,099	77	5,610	314	30,831	111	115	1,207	5,836	388
H23	3,546	35	2,039	△ 60	5,585	△ 25	30,085	112	114	1,170	5,811	△ 25
H24	3,528	△ 18	2,053	14	5,581	△ 4	29,988	114	113	1,170	5,808	△ 3
H25(改定)	3,779	251	2,032	△ 21	5,811	230	29,654	115	117	1,127	6,043	235
H26	3,784	5	1,883	△ 149	5,667	△ 144	28,358	114	113	1,074	5,894	△ 149
H27	3,780	△ 4	1,867	△ 16	5,647	△ 20	28,257	113	112	1,071	5,872	△ 22

※(改定)は、料金を改定した年度

# 平成27年度 水道事業会計決算の概要

(単位 千円)

## 収益的収入及び支出 (税抜き)

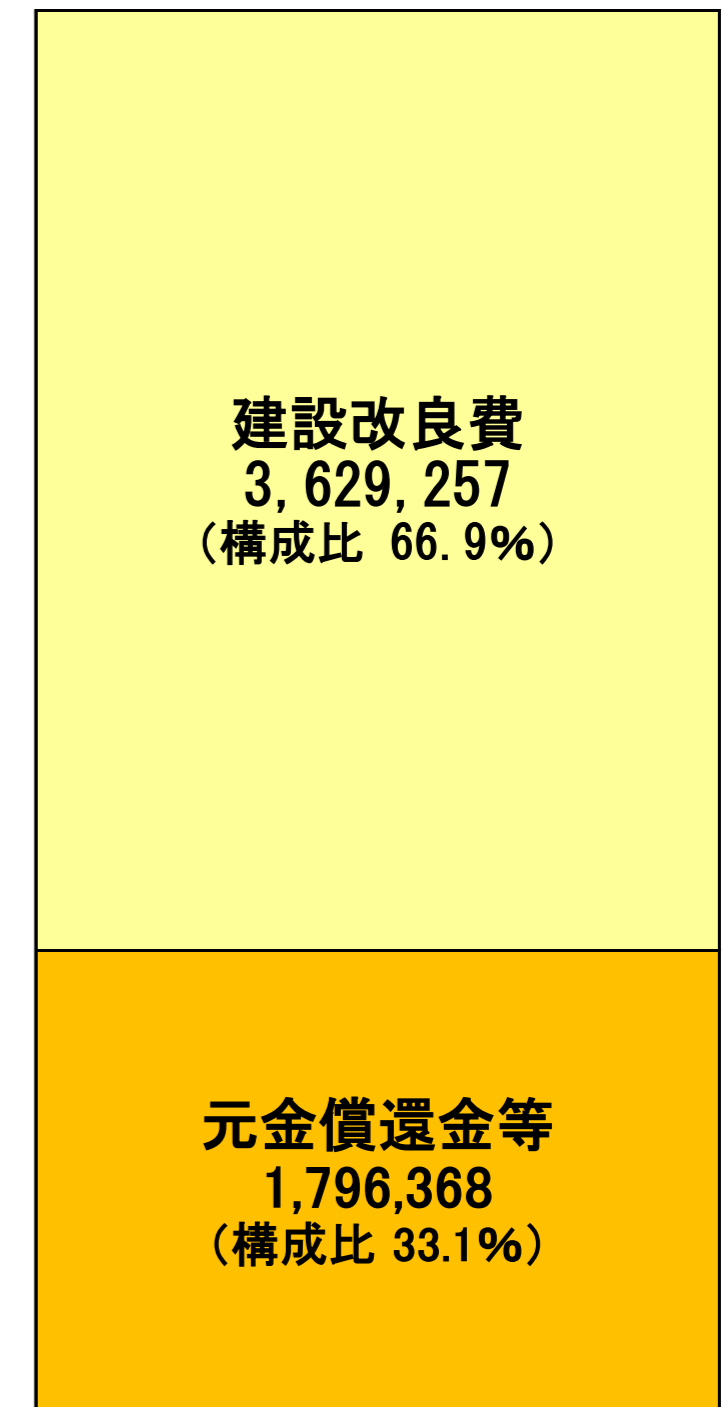
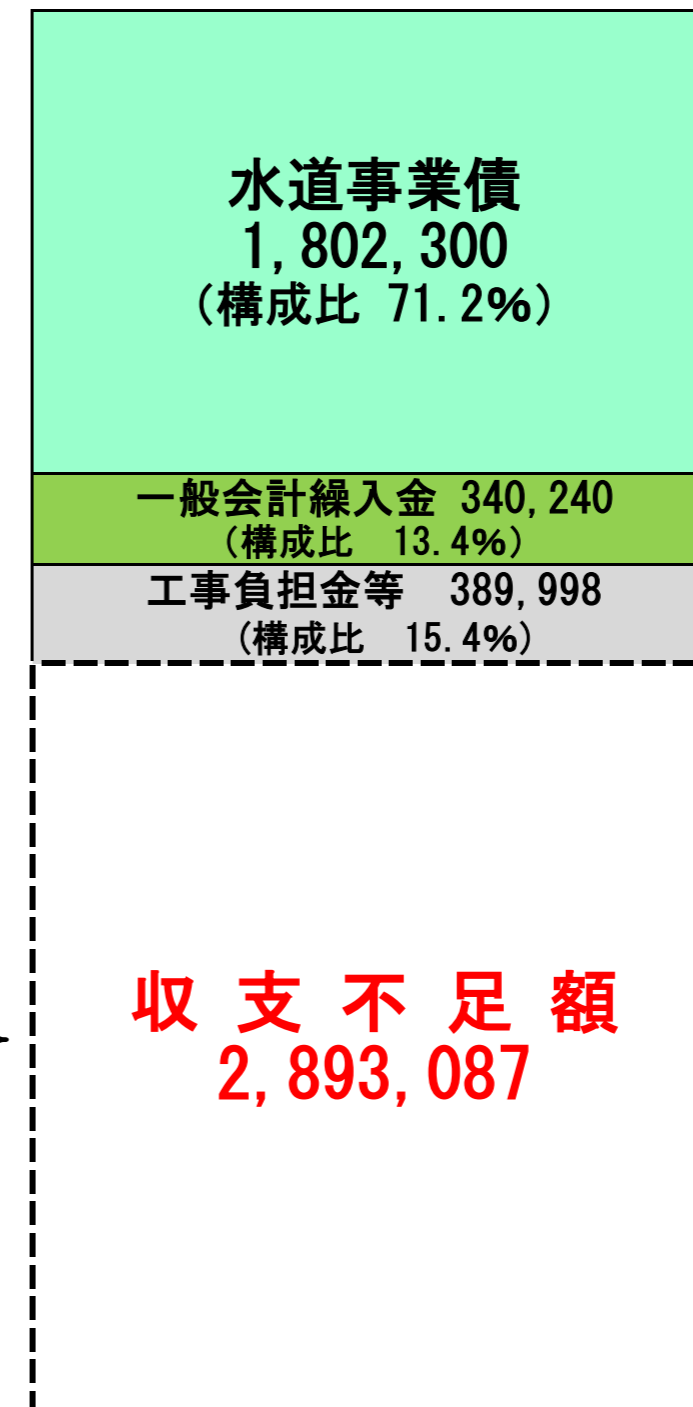
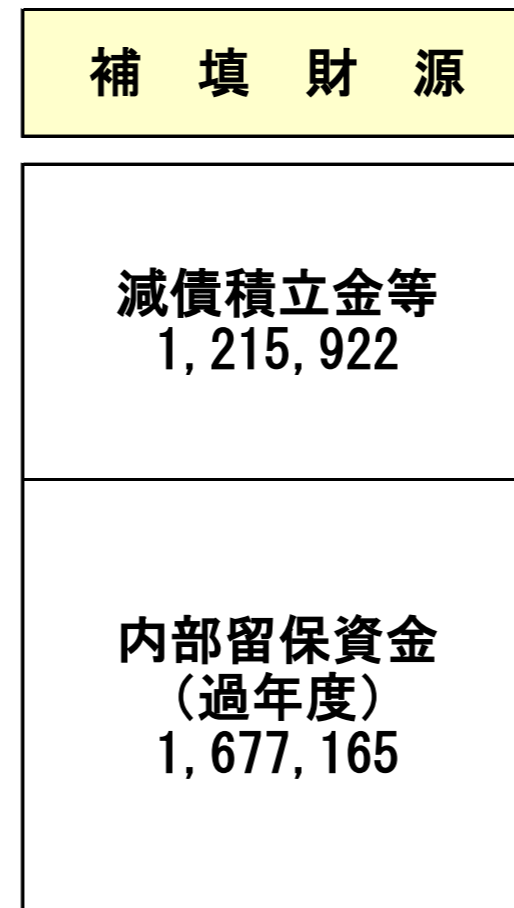
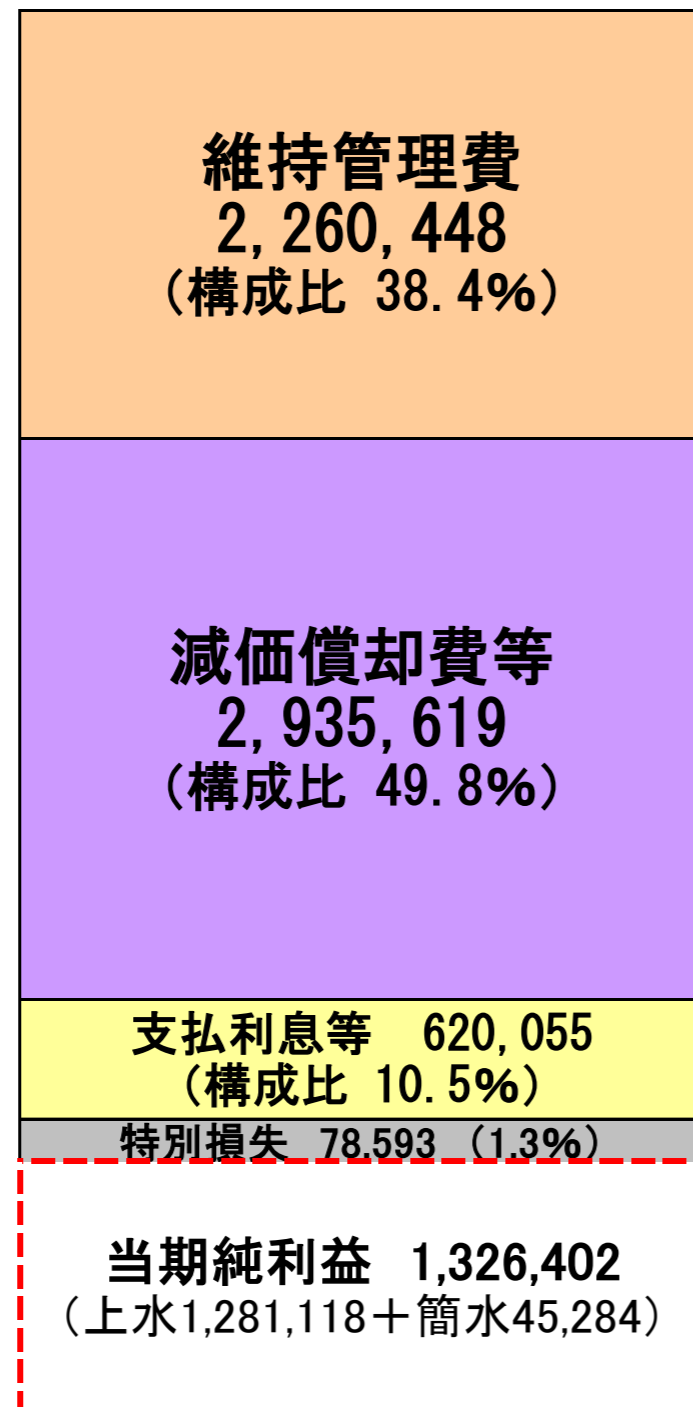
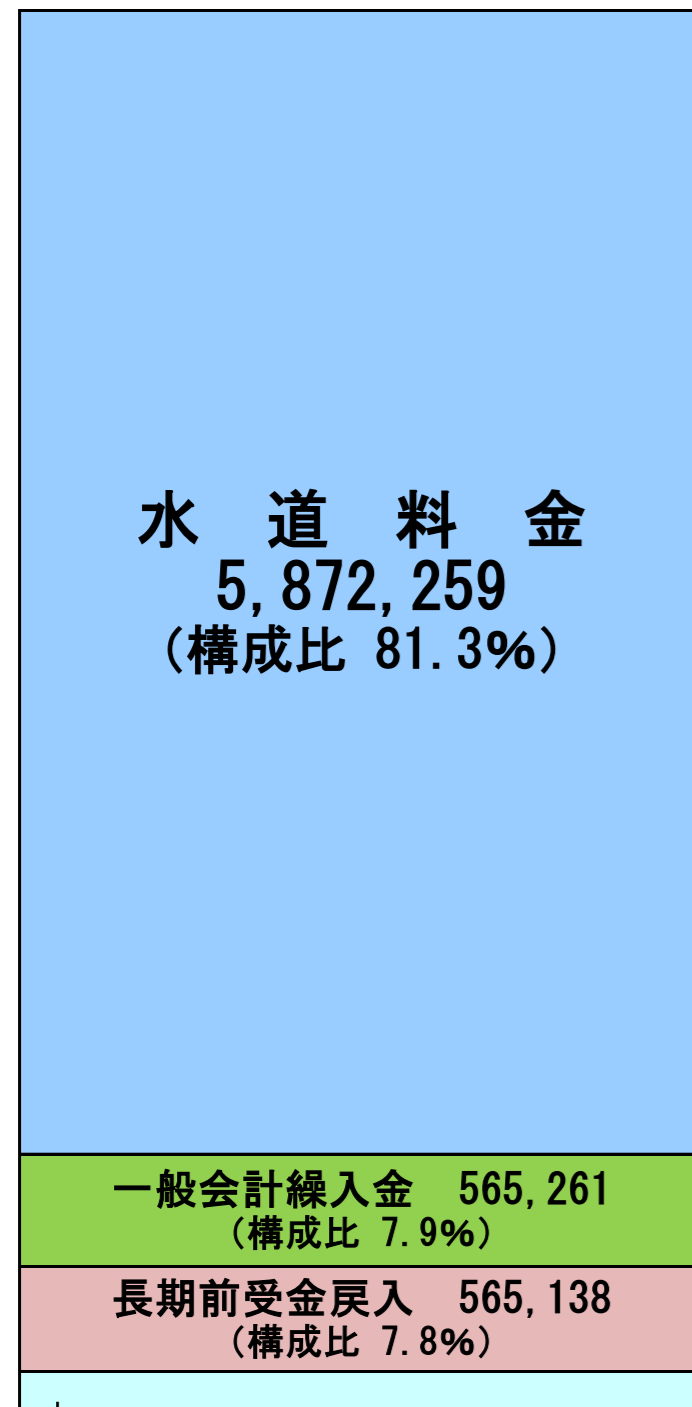
## 資本的収入及び支出 (税込み)

収入 7,221,117

支出 5,894,715

収入 2,532,538

支出 5,425,625



- その他収益 218,459 (構成比 3.0%)
- ・ 加入金 86,652
  - ・ 負担金返還金 56,200
  - ・ 手数料等 41,387
  - ・ 受取利息等 34,220

(減価積立金の使用による計上)  
その他未処分利益剰余金変動額 992,564

### 純利益等の処分 (案)

平成28年9月議会に提出予定

- ① 当期純利益
  - ・ 減価積立金 1,227,402
  - ・ 建設改良積立金 99,000
- ② その他未処分利益剰余金変動額
  - ・ 資本金への組入れ 992,564

※減価積立金の使用により未処分利益剰余金に計上したもの

### 補填後の内部留保資金残額 6,001,167

(損益勘定留保資金 5,015,167 + 建設改良積立金 986,000)

損益勘定留保資金の内訳	
過年度分	2,603,755
現年度分	2,411,412

建設改良積立金の内訳	
22年度	185,000
23年度	189,000
24年度	203,000
25年度	312,000
26年度	97,000

## 平成27年度 下水道事業の概要

### 【主な業務状況】

- ・ 汚水処理区域内人口（下水道に接続可能な人口）は 371,977人で、下水道整備の進捗に伴い、前年度に比べ682人増加しました。また、人口普及率（下水道に接続可能な人の割合）は97.3%となり、前年度に比べ 0.3ポイント増加しました。
- ・ 水洗化人口（下水道に接続済みの人口）は 352,672人で、前年度に比べ 4,517人増加しました。
- ・ 有収汚水量（使用料を賦課した汚水量）は 37,429,324<sup>m</sup>となりました。  
水需要の減少に伴う汚水の減少要因はありましたが、篠ノ井・松代地区を中心とした流域下水道処理区域での水洗化が進んでいることから、前年度に比べ 452,289<sup>m</sup>増加しました。

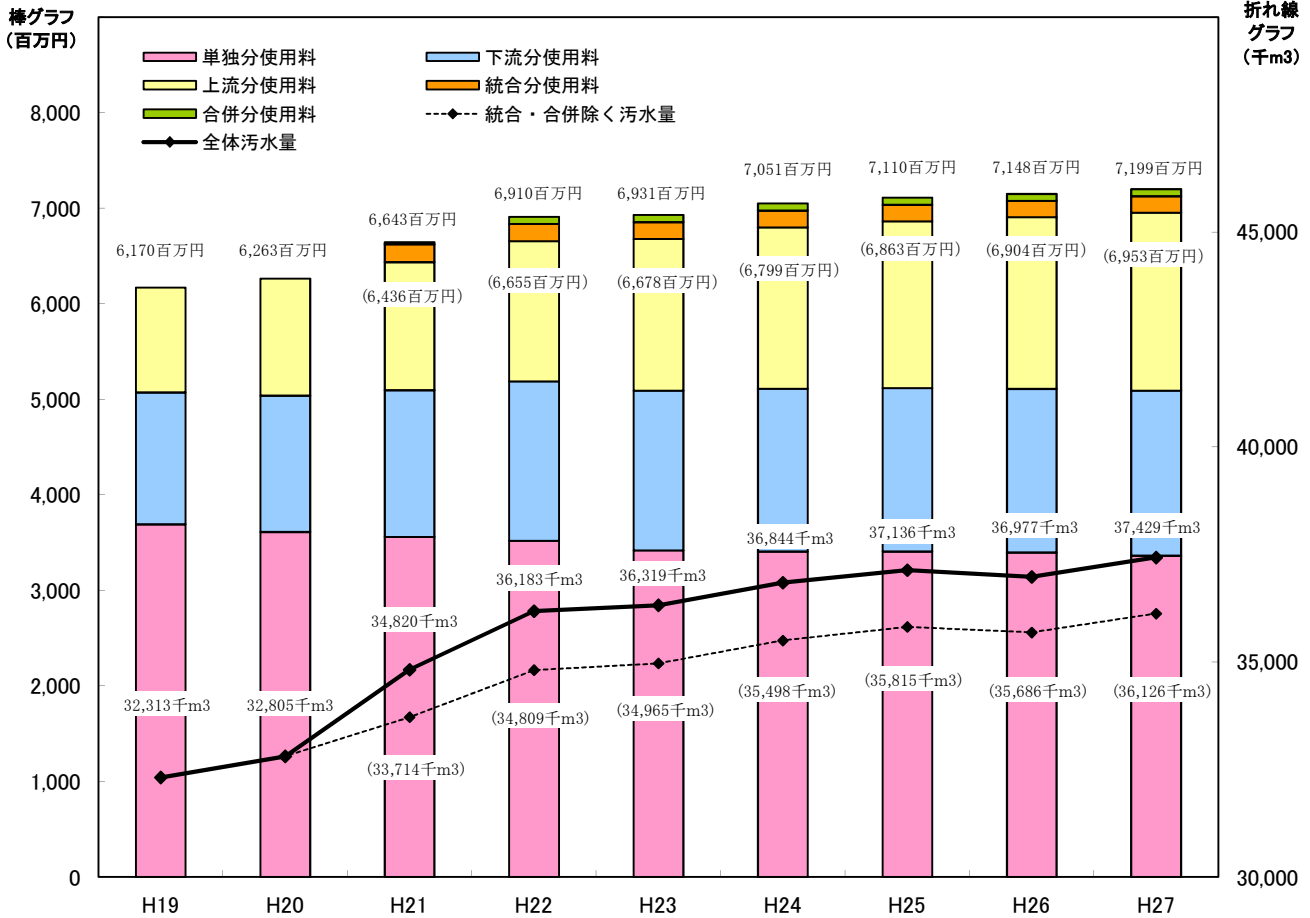
項 目	平成27年度	平成26年度	増 減	対前年比
汚水処理区域内人口（人）	371,977	371,295	682	100.2%
人口普及率（%）	97.3	97.0	0.3	—
水洗化人口（人）	352,672	348,155	4,517	101.3%
有収汚水量（ <sup>m</sup> ）	37,429,324	36,977,035	452,289	101.2%

# 下水道使用料の推移

平成27年度の汚水量は、水需要の減少に伴う汚水の減少要因はありましたが、篠ノ井・松代地区を中心とした流域下水道処理区域での水洗化が進んでいることから、全体汚水量は約45万2,000m<sup>3</sup>の増加となりました。

汚水量の増加に伴い、下水道使用料収入は約71億9,900万円となり、前年度に比べ約5,100万円増加しました。

年度別 下水道使用料・汚水排除量推移



下水道使用料推移 (税抜き)

単位：百万円

年 度	公共下水道			合 計 (A)	対前年 増 減	汚水量 (千m³)	統 合 分 (b1)	合 併 分 (b2)	汚水量 (千m³)	総 合 計	
	単 独	流域下流	流域上流							使用料 (A)+(b1)+(b2)	対前年 増 減
H19	3,693	1,380	1,097	6,170	258	32,313	農集排 小規模 戸隠 鬼無 里	信州新町 中 条			
H20	3,611	1,426	1,226	6,263	93	32,805					
H21	3,559	1,537	1,340	6,436	173	33,714	185	22	1,106	6,643	380
H22	3,519	1,667	1,469	6,655	219	34,809	181	74	1,374	6,910	267
H23	3,417	1,672	1,589	6,678	23	34,965	177	76	1,354	6,931	21
H24	3,408	1,703	1,688	6,799	121	35,498	175	77	1,346	7,051	120
H25	3,408	1,709	1,746	6,863	64	35,815	172	75	1,321	7,110	59
H26	3,397	1,711	1,796	6,904	41	35,686	171	73	1,291	7,148	38
H27	3,362	1,728	1,863	6,953	49	36,126	173	73	1,303	7,199	51

※ 特定環境長野分については、各処理区に加算

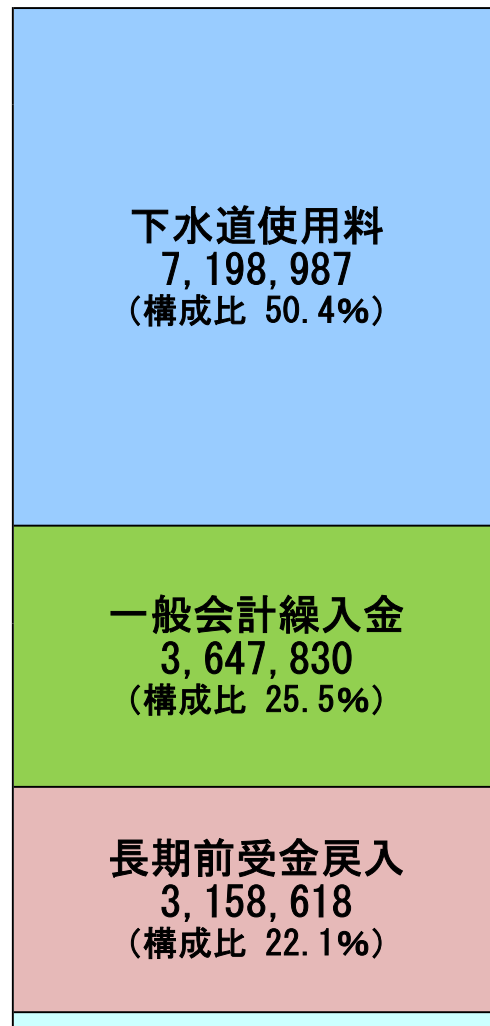
※ (改定) は、料金を改定した年度

# 平成27年度 下水道事業会計決算の概要

(単位 千円)

## 収益的収入及び支出 (税抜き)

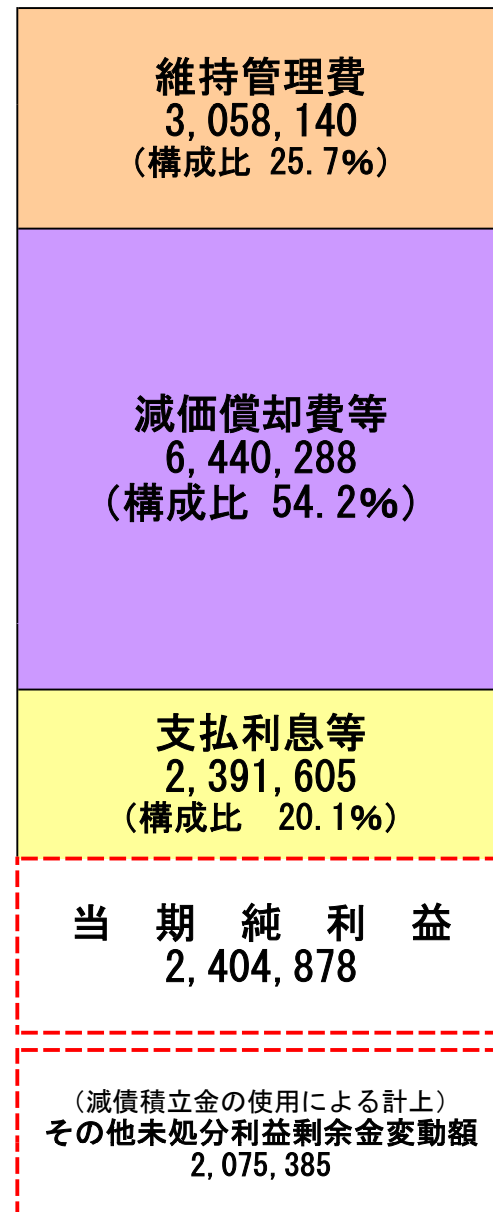
収入 14,294,911



その他収益 289,476  
(構成比 2.0%)

- ・ 県負担金返還 221,239
- ・ 国庫補助金 10,128
- ・ 受取利息等 58,109

支出 11,890,033

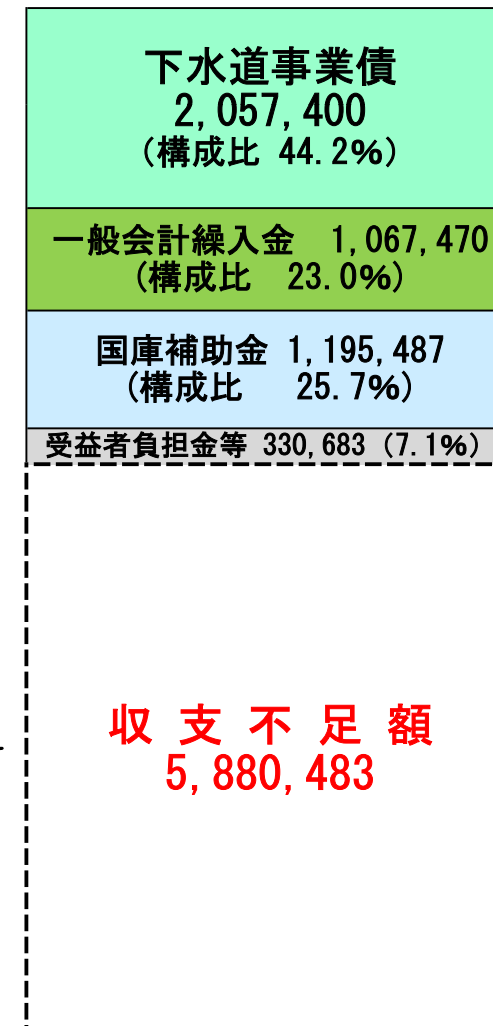


**純利益等の処分 (案)**  
平成28年9月議会に提出予定

- ① 当期純利益
  - ・ 減債積立金 2,404,878
- ② その他未処分利益剰余金変動額
  - ・ 資本金への組入れ 2,075,385
 ※減債積立金の使用により未処分利益剰余金に計上したもの

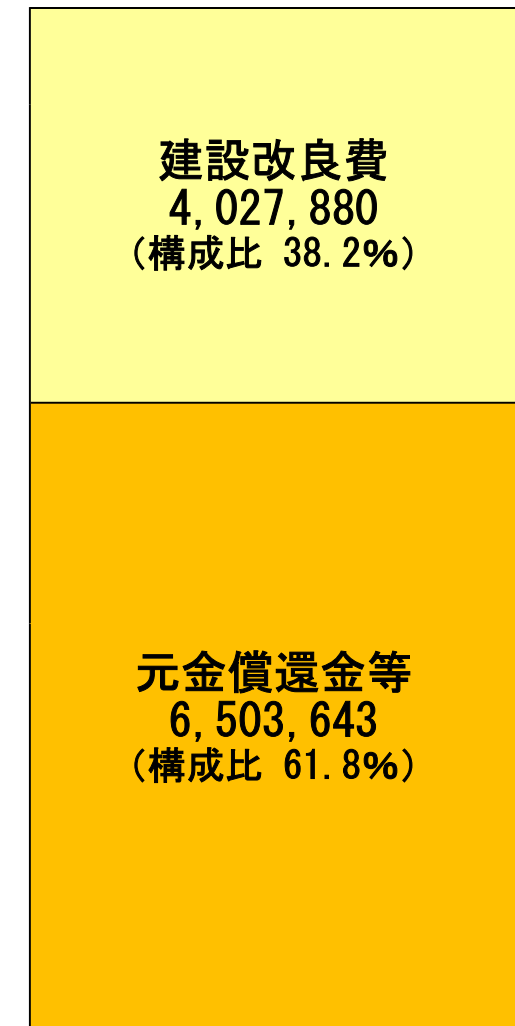
## 資本的収入及び支出 (税込み)

収入 4,651,040



収支不足額  
5,880,483

支出 10,531,523



### 補填財源



補填後の内部留保資金残額 3,799,332

### 損益勘定留保資金の内訳

過年度分	531,602
現年度分	3,267,730